



100円ショップで買ったビンゴカードに、シールを貼る。



先生が言った漢字をカードに書く。
たまたま漢字熟語も書いてOK。(子供の漢字習得状況や目標に合わせて書かせることもあります。一度に2文字片付くので時間がないときは便利)

書くことができた漢字と書けなかった漢字のカードを分けておく。



で書くことができなかった漢字を、先生に言ってもらいながら、シールに書く。
書くことができた漢字は先生が書きます。

先生の分のビンゴカードにも、書く。
漢字を3回練習することになります。



漢字カードを裏返ししておいて、1枚ずつ交代で引いていく。

引いた漢字は、子供に読んでもらう。

たくさんの漢字の中から、必要な漢字を選び出すので、視覚的な探索能力を養うようです。

漢字を何回も練習することがいやな子供でもビンゴゲームだと、喜んで書きます。

普通のビンゴゲームのように、4個並ぶと「リーチ」を言います。しかし、5個並んで言う「ビンゴ」は言いません。その代わりに、5個並んだら、ピコピコハンマーで相手を叩くことができます(叩かれる方は防御できます)。手をパチンと叩く(相手は手を外す)ときもあります。これが、楽しみのようです。